

第50期日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画

広島市立大学 国際学部 4年 赤畑利奈

2023年12月

はじめに

Hola! Feliz Año Nuevo!

みなさん、明けましておめでとうございます。メキシコにて新しい年を迎え研修も残り7か月となりました。2024年、残りの研修期間もこのレポートを通して皆さんに現地の様子をお伝えできればと思います。本年もよろしくお願いいたします。

日本では令和6年能登半島地震が起き、新年早々多くの方が被害に遭われたと伺っています。こちらをご覧の皆様は大丈夫でしたでしょうか。被害に遭われた皆様、そのご家族、ご友人、関係者の方々に、心よりお見舞い申し上げます。メキシコではちょうどカウントダウンを終えたところで飛び込んできたニュースだったため、驚きの気持ちが大きかったです。こちらでも周りの人からSNS等を通じて「家族や友達は大丈夫？」と多くのメッセージを頂き、遠く離れたメキシコで大勢の方が日本のことを心配していただいていることに感謝し、1日も早く皆さんに笑顔が戻ることを祈っています。

12月初旬に行われたテストを終え、約1か月の休暇を過ごしました。時間に余裕があるのでメキシコ市内散策や遠出をするなどと、出会いも多く充実した休暇を過ごすことができましたと感じています。今回はクリスマスシーズンということもありメキシコならではの過ごし方を紹介します。

Posada (ポサダ)

メキシコのクリスマスシーズンは12月12日聖母グアダルーペ（褐色肌の聖母マリア）の日から突入し、1月6日の三賢者の日まで続きます。クリスマス期間といってもその期間実際に学校や会社が休みになるわけではありません。日本では冬休みにおせちなどをたくさん食べて「正月太りをしてしまった」という方も多いかもしれませんが、メキシコではこの12月12日から1月6日まで家族や友人たちのパーティーが連続するため「マラソン」と表現する人も多いようです。

日本とは異なり12月16日から24日までの9日間各地でポサダと呼ばれるお祭りが開催されます。この期間はキリスト教におけるナザレからベツレヘムに向かう父ヨセフと母マリアが宿泊場所を探しキリストの誕生を待った期間になぞらえています。私は学校で行われたものと友人主催のポサダに参加しました。ポサダでは聖母マリアとヨセフの巡礼になぞらえて行う儀式、そしてピニャータ割りを行います。ピニャータとは色とりどり紙で飾られた入れ物で中にはお菓子やフルーツ、サトウキビなどが入っています。実は中国から伝わ

ってきたもので植民地時代以降続いている伝統でもあります。日本のスイカ割りのように目隠しをして数回周り中にぶら下がったピニャータをまわりの声を頼りにたたいて割ります。このポサダ期間が近づくと市場や街のいたるところでピニャータが売られるようになり、伝統的なものは7つの角がある星型ですが、ロバやキャラクターものも多く見かけることができます。日本のアニメとして有名なドラゴンボールの孫悟空のピニャータもあるんですよ！ポサダのお祭りで特に私のお気に入りになったのは ponche (ポンチェ) です！ポンチェとは赤いホットドリンクでリンゴ、グアバ、サトウキビ、シナモンそしてハマイカ(ハイビスカス)を煮込んで作ります。見た目はワインやサングリアのようですが味はすっきりとした甘さでとても飲みやすいものでした。

Piñata

お菓子や果物などがたくさん入っています！



クリスマスコンサートにて学生と一緒に「きよしこの夜」などクリスマスソングをスペイン語で歌いました

La Nochebuena(12月24日 クリスマス・イブ)

ポサダは友人たちと楽しむことが多いですが、12月24日の夜は家族で過ごす大事な日なんだそうです。そのためか24日、その翌日の25日は人通りも少なくいつもはにぎやかなメキシコの街も一転この2日間は一転して落ち着いた雰囲気が広がっていました。24日の晩、お誘いを頂いて現地のご家族の集まりにご一緒させてもらうことができました。兄弟親戚一同20人ほど集まって開かれたパーティーでは手作りの料理がふるまわれ、お酒を楽しみつつみんなでサルサやバチャータを踊るというメキシコらしいパーティーはとても楽しかったです。21時頃から徐々に始まり、帰宅したのは朝の4時でした。パーティーの途中で帰ることになったのですが、ご家族の皆さんはその後ゲームやダンスをして楽しんだそうです。日本にはメキシコのようなパーティー文化はあまりないので、現地の人々の日常生活を実際に経験して楽しむとともにさらに現地の暮らしに染まりたいと感じました。



クリスマスパーティーにて
七面鳥やバカラオ（タラの塩漬けの
干物）を煮込んだ料理を頂きました。
どれも本当においしかったです。

メキシコの年越し

いよいよ 2023 年も終盤 12 月 31 日、大みそか。Fiesta（お祭り）好きなメキシコの人たちは年越しも盛大にお祝いします。首都メキシコシティの中心部では大きなステージが設置されメキシコの有名なバンドによる夜通しカウントダウンライブが催されたようです。私は今暮らしているお家のメキシコ人のルームメイトとその娘さんたちで新年を迎えました。日本では大みそかに年越しそばを食べると思いますが、メキシコでは 2024 年を迎えるための教会の鐘の音に合わせて 12 粒のブドウを食べます。この 12 という数字は、月の数に由来し、一粒一粒食べながら来年の抱負や願い事をします。鐘が鳴り終わるまでに食べないといけないので、みんな真剣です。これはスペインから持ち込まれた慣習で植民地時代以降年越しのためのしきたりとして広まっているようです。私も必死に願い事をしながらなんとかブドウを食べました。そのあとはひたすらご飯を食べて歌って、お酒を飲んで踊ってとお祭り騒ぎ、日本のように厳かに迎える年越しとは 180 度違う年越しを楽しむことができました。

12 個の願い事を 12 粒のブドウを
食べながら願います。

（これが案外難しい…）

Luz de bengala（手持ち花火）

日本のものよりも長く、

芯は金属になっています。



休暇も終わり、また学校が始まります。未だ日々の会話でも悪戦苦闘していますが、しっかりと学び、身につけれるよう気を引き締めていきます。2023年はこの研修を含め学びと発見が多い一年でした。2024年も素敵な一年になりますように
それでは、
¡Hasta luego!



月のピラミッド



太陽のピラミッド

12月のお気に入り写真

世界遺産 テオティワカン (Teotihuacan)

メキシコシティ北東約 50 km地点にあるテオティワカン遺跡に行きました！

月と太陽のピラミッドがあり壮大で迫力がありました。